

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	3
➤ JRRN 会員募集中	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト

「水辺の小さな自然再生事例集 第2集」印刷版 全国発送を開始しました (6/1~)



本事例集 冊子 (左図) の送付をご希望の方は、郵送料 (250 円) のみご負担頂いた上で、2 冊を上限に無料でご提供致します。送料のお支払方法は、「郵便切手の事前送付」または「PayPay による支払い」が選択できます。右下の各支払い方法別の申込受付ページより、『①氏名』『②送付先

郵便番号』『③送付先住所』『④メールアドレス』『⑤必要冊子数 (1 or 2 冊)』を入力してお申し込み下さい。(送付は郵便を用い、ポストへの投函となります)

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、JRRN 事務局職員の出勤が当面制限されているため、お申込み後、事例集到着まで約 2 週間程度を要する場合がございますので、予めご理解頂ければ幸いです。(ダウンロード版はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1127.html>)

【1】郵便切手で送料をお支払いの方

・申込手続きを完了後、「250 円分の切手」を以下の JRRN 事務局まで郵送願います (2 冊まで送料同じ)。切手を受信して、発送を完了した後、JRRN 事務局よりメールでご連絡を申し上げます。

※送付先：〒104-0033

東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号
NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所内
日本河川・流域再生ネットワーク事務局 担当：澤田

【2】PayPay で送料をお支払いの方

- ・申込手続きを完了後、PayPay での支払い方法が表示されますので、入力前にお手元にスマホをご用意の上、説明内容に従い PayPay アプリでの支払いをお願いします。
- ・PayPay アプリでお支払いの際には、「メッセージを追加する」を選択し、支払者の「氏名」を必ず入力してください。
- ・PayPay での支払いを確認し発送を完了後、JRRN 事務局よりメールでご連絡を申し上げます。



「水辺の小さな自然再生事例集第2集」
申込受付【郵便切手で送料をお支払い頂く方へ】

本事例集 (冊子) の送付をご希望の方は、送料 (250 円) のみご負担 (郵便切手の事前送付) 頂いた上で、2冊を上限に無料でご提供いたします。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、JRRN事務局職員の出勤が6月以降も制限されているため、お申込み後、事例集到着まで約2週間程度を要する場合がございますので、予めご理解頂ければ幸いです。
送付を希望される方は、以下の情報を入力後、送信ボタンを押してください。

*必須

「水辺の小さな自然再生事例集 第2集」
印刷版の送付申込受付ページ

- ① 郵便切手で送料をお支払いの方
<https://forms.gle/KPn6L6XgWGGp5Zo39>
- ② PayPay で送料をお支払いの方
<https://forms.gle/bm39yiZAVEJzUZkf6>

(JRRN 事務局・澤田みつ子)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

JRRN 運営報告 – 「2020年度 第1回 JRRN 理事会」開催報告

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の『2020年度 第1回理事会』が下記の通り開催され、全議案が承認されました。JRRN 設立から14年目となる本年の理事会では、これまでの国内外活動で蓄積されてきた河川・流域再生に関わる知見を積極的に社会に還元していくこと、会員ネットワークの更なる拡大に向けて会員制度等の見直しに取り組んでいくこと、クラウドファンディングや SNS 等のネットを活用した新たな活動に挑戦していくことなど、持続的な活動の展開に向けたアイデアについても審議しました。

- 1.開催日時：令和2年5月29(金) 10:00-11:20
- 2.開催場所：(公財)リバーフロント研究所 (WEB 会議)
- 3.理事総数：4名
- 4.議案：
 - ・議案第1号 2019年度 事業報告及び収支決算
 - ・議案第2号 2020年度 事業計画及び収支予算
 - ・議案第3号 事務局の組織及び運営

事業報告、事業計画等の資料のダウンロードは下記 URL をご参照ください。

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1141.html>



理事会の様子※

※今回の理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として WEB 会議を利用して開催され、全 JRRN 理事に加え、JRRN 事務局メンバー及び(公財)リバーフロント研究所業務執行理事が参加しました。

(JRRN 事務局・阿部充)

JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

JRRN 運営報告 – 「JRRN 事業報告 2019」発行

上記の JRRN 理事会における「2019年度 事業報告」の承認を受け、JRRN の昨年度(2019年4月～2020年3月)の活動を取りまとめた「令和元年度事業報告書 2019(JRRN Annual Report 2019)」が完成しました。(全4ページ)

令和元年度は、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、川づくりの担い手の育成及び協働・支援、そして国際的な技術交流に取り組み、特に海外における技術交流が活発な一年となりました。また、5年振りに小さな自然再生事例集の続編を制作・発行することができました。

今年度も、河川基金助成事業の一環で取組む「水辺の小さな自然再生」普及促進活動をはじめとして、川づくりの担い手に役立つ新たな価値を創造し普及して参ります。

どうぞよろしくお願い致します。

※事業報告書(年次報告)のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/annual/82>



(JRRN 事務局・和田彰)

6月



あの日のあの川 リレー日記 ～第50話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第50話主人公 笹目慈音

(筑波大学 社会国際学群国際総合学類 4年 白川(直) 研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：静岡県蓮台寺川)

「いつもそばにあった川」

いつのこと？： 5歳～18歳

どこの川？： 蓮台寺川

「蓮台寺」「稻生沢」こちらの漢字、読めますでしょうか…？ おそらく一つ目は簡単かと思います。そう、「れんだいじ」です。じゃあ二つ目、こちらはすこし難しいかもしれません。「いねなまさわ」？ 「いなせいさわ」？ 正解は、「いのうざわ」と読みます。いきなり皆さんに漢字クイズをするような文の書き出しになってしまいますみません。文章を書くことにはあまり慣れていないのですが、頑張って川の思い出を書いてみようと思います。少しの間、お付き合いください。

冒頭にご紹介したのは、私が生まれ育った場所の地名です。そして、その名前がついた川、蓮台寺川と稻生沢川が、私の

実家のすぐ近くを流れています。運台寺川は、数キロ先で稻生沢川に合流します。

正直、「あの日のあの川リレー」のバトンを官さんから引き継いだ時、「川との思い出、あったかな…」と少し考えてしまいました。というのも、先輩方が残されたリレーを見ていると、皆さんがそれぞれの思い出を持っているようで、それに比べて自分にはそうやって書けるほどの思い出が見当たらないと考えていたのです。しかし、それは大きな勘違いでした。むしろ、私のこれまでの人生に、川はずっと寄り添ってくれていたような気がしています。日常生活のすぐそばを、いつも緩やかに流れていたあの川の記憶を、少しずつ振り返ってみようと思います。

私が小学校に入学するくらいのタイミングで、私は現在の実家に引っ越しました。その時の記憶はあいまいですが、すぐそばに川が流れているということは、当時の幼い私にとってうれしかった記憶があります。そこから、川のある生活が始まりました。

私自身、小学生の頃は人とコミュニケーションをとることが上手ではなく、友人にいじめられてしまうことがありました。何度も泣きながら、一人家を目指して歩いた通学路、そのすぐそばを川が流れていました。正直苦い思い出ではありますが、その記憶の中ではいつも川のせせらぎが聞こえてきます。とても贅沢なことかもしれませんね。

その頃のことももう一つ覚えているのは、犬の散歩です。夕方、母が仕事から帰ってくると、犬の散歩によく一緒に出掛けました。時間が合えば、時々父も加わって一緒に散歩をしました。散歩をしながら、父母とたくさん話をしました。四季の変化を感じながら、ゆったりと川沿いを歩いたあの時間は、今でもずっと記憶に残っている大切な思い出の一つです。

時間が経ち、中学生・高校生になると、勉強や部活が忙しくなり、そんな時間も減っていました。かつて散歩をしながらゆっくり歩いていた川沿いの道は、体育の授業でマラソン練習をするためのコースになり、その練習がとてつらかったのを覚えています。この時を思い出して聞こえてくるのは、川のせせらぎなんかではなく、自分の足がコンクリートを蹴る足音と、今にも途切れそうな息継ぎの音。しんどかったなあ…。

そして、月日は流れ、18歳。受験が迫ってきました。自分の部屋にこもり、ひたすら問題集とにらめっこしていた自分。開け広げた窓から吹いてくる夜風を受けながら、ペンを走らせ、ノートを埋め、教科書をひたすらめくっていたそんな時間は、いま思い返すととても感慨深いものがあります。ふとペンを止め、大きく伸びをして窓の方に向かえば、聞こえてくるには、そう、川の音。やはりずっと生活の中に川があったのだと改めて気が付きました。大学に進学し、こうして川に関するゼミで学んでいることが、どこが運命づけられているようにも感じます。

大学進学をきっかけに、実家を離れての生活が始まりました。はじめのうちは頻繁に実家に帰ったものですが、最近ではほとんど帰ることが出来ていません。そして、いま世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスの影響で、また帰ることが難しくなっていました。

この状況が収束したら、実家に帰ろうと考えています。そして、父母と一緒に犬の散歩に出かけようと思います。会えない時間に積もっていた話をしたり、川のせせらぎを聞きながらゆったりと季節を感じたり。その時間が待ち遠しい、今日この頃です。

(次は山口まりなさんにバトンを託します)

水辺からのメッセージ No.133

岡村幸二 (JRRN 会員)

水面に映る景色： バブル期の色合いを残しつつ 新たな都市の自然を求めて



撮影：2020年5月（東京都文京区・文京グリーンコート）

◆都市の水辺に自然を感じる

文京グリーンコートでは、高層の住宅棟とオフィス棟の間を水景施設で区切られています。その先には、旧理化学研究所用地に残された樹林地の一部が公開空地として貴重な緑空間となっています。

◆水辺を緑地空間の中に自然の気配を

20 数年前のバブル期の都市の水景施設は、シャープなデザインに特化していて、人と自然の対話があまり感じられません。もっと野草や小動物が入り込む生態系保全機能が欲しい気がします。

■ 連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーは JRRN ホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

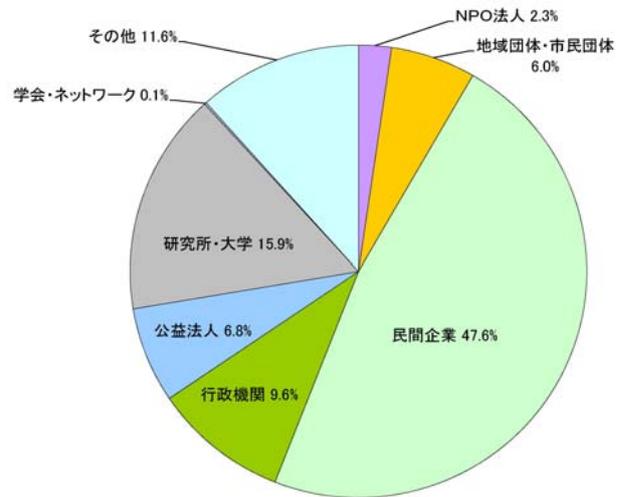
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2020年5月31日時点の個人会員の所属構成
 (個人会員数：803名、団体会員数：60団体)
 ※5月の新規入会数：個人会員2、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局
 〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内
 Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
 URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>